

は し が き

がいこくじんぎのうじっしゅうせいど かいほつとじょうこく せいそうねんろうどうしや にほん う い にほん
外国人技能実習制度は、開発途上国の青壮年労働者を日本に受け入れ、日本の
さんぎょう しょくぎょうじょう ぎのう ぎじゆつ ちしき いてん つう くに けいざいはってん にな
産業・職業上の技能・技術・知識の移転を通じ、それぞれの国の経済発展を担う
じんざいいくせい きよ もくてき のうぎょうぶんや こくさいきょうりよく
人材育成に寄与することを目的としています。農業分野においても、国際協力・
こくさいこうけん やくだ のうぎょう のうそん こうれいか ろうどうりよくぶそく たいおう
国際貢献に役立ちながら、農業・農村の高齢化、労働力不足などに対応し、わが
くにのうぎょう はってん し し く かつよう
国農業の発展に資する仕組みとして活用されています。

こうした中、なか ぜんこくのうぎょうかい ぎしよ じっし のうぎょうぎのうじっしゅうひょうかしけん じゆけんしやすう
こうした中、全国農業会議所が実施する「農業技能実習評価試験」の受験者数
は、せいど そうせつ いらいぞう かけこう
は、制度創設以来増加傾向にあります。

これに伴い、ともな かんり だんたい ぎのうじっしゅうせい ようぼう こた ぜんこくのうぎょうかい ぎしよ へいせい
これに伴い、監理団体や技能実習生の要望に応え、全国農業会議所では、平成
24年にねん ほん 本テキストをさくせい 作製いたしました。その後、ご へいせい ねん れいわ ねん ど
24年に本テキストを作製いたしました。その後、平成28年、令和3年の2度に
わたくし かいてい おこな ないよう あたり
わたって改訂を行い、内容を新しくしました。

こんかい かいてい しょきゅうしけん せんもんきゅうしけん じょうきゅうしけん たいおう
今回の改訂では、初級試験・専門級試験だけでなく上級試験にも対応できるよ
うおほば かくひつ しゅうせい しゃしん へんこう しかく
う大幅に加筆・修正したほか、写真をモノクロからカラーへ変更するなど、視覚
てき りかい ふか ないよう おお さっしん
的にも理解を深められる内容に大きく刷新しました。

このテキスト いっさつ しょきゅう じょうきゅう がっか しけん じつぎしけん ないよう けいどうてき
このテキスト一冊で、初級から上級までの学科試験・実技試験の内容を系統的
にまな せんもんきゅう じょうきゅう じゆけんしや せんもんきゅう じょうきゅう ないよう こう
に学ぶことができます。専門級・上級の受験者は、「専門級」「上級」の内容・項
目もく あわ がくしゅう しょきゅう じゆけんしや ぶぶん と けっこう
目を併せて学習してください。初級の受験者は、この部分を飛ばして結構です。

ほん ぎのうじっしゅうせい し ちしき せいり
本テキストは、技能実習生にぜひ知ってほしい知識をわかりやすく整理してあ
ります。かのう かがい かんい ひょうげん ころ しゃしん おお つか め み
ります。可能な限り簡易な表現を心がけ、写真やイラストを多く使い、目で見て
りかい くりゆう ほん ぎのうじっしゅうせい がくしゅう いちじよ
理解ができるよう工夫してあります。本テキストが技能実習生の学習の一助にな
りかつよう きたい
り活用されることを期待します。

さいご ほん しゃしんけいざい あ きょう と きんるいけんきゅうしよ やまなかかつ じ
最後に、本テキストの写真掲載に当たっては、京都菌類研究所の山中勝次
しよちよう こうえきぎだんほうじんとうきょう と のうりんすいざんしんこうざいだんとうきょう と のうりんそうごうけんきゅう
所長、公益財団法人東京都農林水産振興財団東京都農林総合研究センター、
ぜんこくのうぎょうしんぶん たすう かがた ていきょう ふか かんしやもう あ
全国農業新聞など多数の方々にご提供をいただきましたことを深く感謝申し上げます。

目次

1 日本農業一般

1	日本の地理	4
2	日本の気候	5
3	日本の農業	5
4	稲作	5
5	野菜	6
6	果樹	7
7	畜産	8

2 耕種農業一般

1	各器官の成長	10
2	作付体系と作型	12
3	は種(種まき)	12
4	育苗・定植	14
5	かん水(水やり)	16
6	作物を育てる土	17
7	土づくり	20
8	連作障害	22
9	肥料	23
10	土壌改良材 専門級 ・ 上級	27
11	施肥	27
12	うね立て	29
13	摘心・摘葉・摘果	31
14	人工受粉	31
15	仕立て、誘引、整枝	32
16	収穫	33
17	被覆資材の利用	34
18	病害虫・雑草防除の知識	36

3

安全衛生

1	健康管理	40
2	安全な農業機械の使い方	40
3	農薬散布	43
4	電源、燃料油の扱い	45
5	整理・整頓	48

4

施設園芸作業

1	施設園芸作物の特徴	50
2	施設の種類と構造	53
3	施設用被覆資材とその特性	55
4	施設内の装置	56
5	環境管理	58
6	生育診断	61
7	養液栽培	62
8	育苗方法	63

5

キノコ

1	日本の栽培キノコの種類	66
2	キノコの栽培方法	66
3	菌床栽培の施設	68
4	菌床栽培の工程	68
5	キノコの部位の名称	72
6	病害虫と防除対策	73

6

農作業の用語

写真一覧(土壌・肥料・野菜・種子・被覆資材・キノコ・栽培培地・病害・虫害)

土壌・肥料	79	被覆資材・キノコ・栽培培地	82
野菜	80	病害・虫害	83
種子	81		

1 日本地理

日本は、ユーラシア大陸の東にある島国です。

日本列島は、南北に長く伸びています。

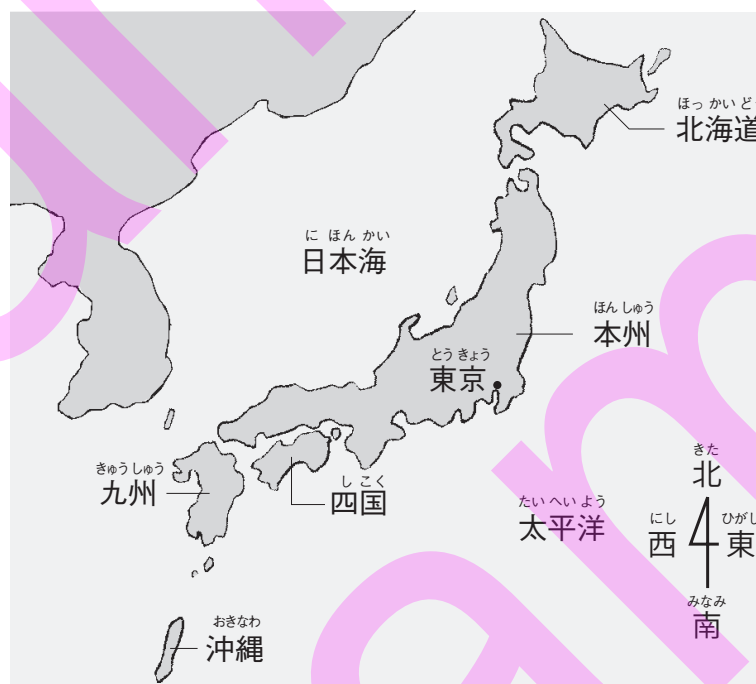
北海道、本州、四国、九州の4つの大きな島とたくさんの小さな島があります。

日本は山地が多く、農地が少ないです。

農地の約半分は水田で、残りの半分は畑です。

日本は小さな国ですが、季節や地域によって多様な農業が行われています。

*本テキストでは、「稲」は「イネ」と書きます。


専門級・上級

日本の総面積は約37.8万km²です。

北の北海道から南の沖縄県まで、約2,500kmあります。

日本の土地の約73%は山地です。

農地は約437万 ha で、総面積の約12%です。

日本の食料自給率（カロリーベース）は38%です（2019年度）。